

次の日程により、胃がん検診を行いますので、対象者は必ず受診されますようご案内申し上げます。

今年三月に実施した。健康診断世帯調査表に基づき、個人票を送付しますので、役場町民生活課保健衛生係へ申込書を提出してください。

※検診料は五百円、当日ご持参ください。

※検診当日は、起きてから検診終了まで、何も食べたり飲んだりしないでください。

●申込み、お問い合わせ等は町民生活課保健衛生係へどうぞ。  
(三八一三二一内三八・四〇)

# 胃がん検診のご案内

一年に一度は受けましょう

## 検診の日程

期 日	会 場 (受付時間)	対象地域
5月24日(火)	ヤシロタ健康体力研究所 午前8時~11時	矢代田2 矢代田13
	横川集落開発センター 午前8時~9時	横川浜 小向、水田
5月25日(水)	保健センター(役場) 午前8時~11時	諏訪町、うでこき 新町、花園町 中央町、文京町
	新保地域研修センター 午前8時~9時	新保、竜玄
5月26日(木)	保健センター(役場) 午前8時~11時	大川前、本町 蔵町、雁巻町 新栄町、若葉町
	矢代田小学校 午前8時~10時	矢代田1、松ヶ丘 天ヶ沢、鎌倉

## 新しく小須戸町の学校に

勤務された先生方です

- 小須戸小学校
  - 氏名 前任校
  - 伊藤マサ子 新津第二小
  - 佐藤 昭宏 加茂小
  - 坂上美千子 須原小(守門村)
  - 矢代田小学校
    - 大淵 英一 中之口西小
    - 山本 雪子 加茂中
- 小須戸中学校
  - 石原 裕子 県立上越養護
  - 荒木 祐子 亀田西中
  - 中野 祐子 小合中(新津市)
  - 白井 博栄 浦田中(松之山町)
  - 細貝美穂子 小合小(新津市)

# 植木盆栽まつり



毎年恒例となりました植木盆栽まつりが、今年もゴールデンウィークの五月三日から五日まで開催されます。本格的な花と緑のシーズンの始まりです。

当町では、全町民が美しい自然の中で、花と緑を愛し、町に花と緑をいっぱいにする運動を通じて、明るい町づくりを推進する目的で毎年五月四日を「花と緑の日」としています。家族みんなで、美しい花をながめ、足を運んでみましょう。

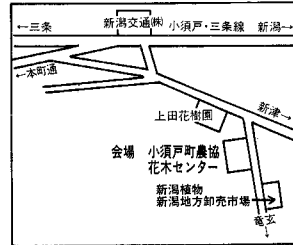
花と緑推進協議会では、植木盆栽まつりの会場で、来場の方に花の苗をプレゼントします。美しい町はみんなの願いです。美しい花を育てましょう。

## 5月3日~5日

■会場 小須戸町農協花木センター

(4日と5日は 花の苗プレゼント)

- 午前 10時 ~ 11時
- 午後 1時30分 ~ 3時



# はじめて小須戸に来て

四月から小須戸町の学校や派出所等、町関係施設に勤務されることになった方々をご紹介します。



新津南高校校長  
嶋村 裕氏  
(昭和五年七月七日生)  
住 所 新津市新町一丁目九番  
二七号  
前任教地 新潟市教育委員会  
学校指導課

町民の期待を受けて創立された本校も最長十周年を迎えようとしています。緑の濃い自然があふれた小須戸町、思い出の多い街です。皆様の御子弟の幸せのため、また学校の発展のため、励ましを頂き責任の重大さをひしひしと感じております。当時の小須戸町とは比較にならない程の発展ぶりです。現に、この新津南高校もその一つです。

先日の入学式に、生徒諸君に



小須戸町幹部派出所長  
長谷川 慶一氏  
(昭和二十五年四月十九日生)  
住 所 大字小須戸二一〇  
前任教地 相川警察署

二つのことを希望しました。一つは「全員高校生として同じ条件でスタートを切る、経験者はいない、もし、三年後の卒業時に目標を達成できないということになれば、それは本人の努力の差である。今を真剣に、そしてベストを尽くすことである。」

二つめに、「高校生時代は社会に通用する「常識」を身につけなさい。」ということでした。いろいろな要望はあるでしょうが、先ず、この二つを強く希望しました。全職員と協力し、共通理解をもって頑張ります。学校教育には、地域社会の後援が絶対必要です。一層の御協力を心からお願いいたします。

学校や幼稚園などの教育施設がすくなく充実しており、どちらの家々にも立派な庭園があるの「この町には、お金持ちが多いのかな?」と思いました。

交通安全運動の街路指導の際、まだ一度もお会いしたことのない美人さんから、さわやかな声で「おはようございます」と挨拶を受けたのが、何んと言っても忘れない一番の印象です。



(老人福祉センター内)  
社会福祉協議会事務局長  
大久保 善雄氏  
(昭和四年四月二十八日生)  
住 所 新津市古田七六番地  
前任教地 新潟県あけぼの園

今、各種障害年金制度の充実などで、生活水準の向上、社会的、経済的な変革、また、かつてない高齢化の到来など諸情勢の変革で、福祉そのものに対する要請が、さまざまな形に変化してきました。従来のように福祉は与えるものでなく、買うという時代になってきたようです。老人介護制度、地域福祉基金などでみられます。以前、考えられなかった事が今の福祉にあるようです。気持ちを新たに、小須戸町の福祉を進めてみたいと思います。

長岡の精神薄弱者施設あけぼの園を最後に県を退職、四月一日から小須戸町社会福祉協議会に勤めています。小須戸町の協働のある老人福祉センターは、よく手入れされた形のよい松木立、ツツジ、椿などに囲まれた静かな所、すっきり入り気になりました。また、その手入れが老人クラブのボランティアの方々と聞き、更にはうれしくなりました。少し足をのばせば広々とした畑に、今盛りとばかりのクロッカス、

